

非公開

「イラン・イスラエル問題で日本独り勝ちを予測」

米系、スイス系の金融機関を経て、28歳でフランス系のインドスエズ銀行東京支社で「最年少マネージャー・ディレクター」に就任。32歳で金融コンサルティング会社を設立し、世界の富豪の資産運用



石井氏はパラグライダーでチェックインするオマーンのホテル「シックス センス ジギー ベイ」にも宿泊

をアドバイザーする石井至氏。駐日

ルワンダ共和国大使館特別顧問、駐日ドミニカ共和国大使名誉相談役など、これ以上ない国際派だが、意外にも現在、資産は「円の現預金」に集中させているという。

「サラリーマン時代の給与・賞与で、家族全員が一生食べるに困らない資産を蓄えましたが、現在のポートフォリオは9割が現金。残り5%は不動産、5%が株です。なぜ預金、しかも「日本円」にこだわるのか？」

「来年は、東京に世界中のマネーが集中すると予想しています。イランとイスラエル間の緊張が戦争に結びつく可能性は、残念ながら高い。仮にそうなると、欧州とわりわけイギリスやフランスはイランに向け空爆を始めるでしょう。」

20億円

人気大学の学生向けの「ワンルームマンション」を狙う

景気低迷、人口減少社会の到来により不動産価格は凋落するばかりで、国内不動産投資はリスクが高く、手出し無用という意見もある。だが、「うまくやればチャンスはあります」とは笑むのは、遠

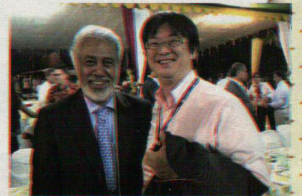
山恭平氏（50代・仮名）。遠山氏はサラリーマン時代から不動産投資を始め、10年程度で20億円もの資産を築き上げた剛腕だ。



遠山恭平氏（仮名）

初の不動産物件を買ったのは、40代前半のとき。現在は約200室保有し、家賃収入は毎月約2000万円。総資産20億円の「不動産王」

ルマクタワー、秋葉原の「東京タイムスタワー」といった都心のタワー・マンションの上層階の部屋



石井 至氏

東京大学医学部卒業後、外資系金融機関を経て独立。名門校への合格率が高い「アンテナ・プレスクール」も運営。著書に「グローバル資本主義を卒業した僕らの選択と結論」「慶応幼稚舎」など。写真上は東ティモールのシャナナ・グスマン元大統領、下はキューバ革命の英雄チェ・ゲバラの息子、カミロ・ゲバラ氏と撮影

イランは報復でロンドンやパリを爆撃する恐れがある。一方、アメリカはイランのミサイルの射程圏外ではありますが、イラン攻撃のリーダーになるでしょうか。何らかの被害が予想される。そのうえ、いまだサブプライムローン問題が本質的には解決していません。そのため、消去法的にアジア・オセアニアに世界の投資マネーが集まると予想されるのです」

アジア・オセアニアが注目される中で「東京独り勝ち」が見込めるのは、なんといってもマーケット規模の大きさだ。その結果、日本は、円高、株高、不動産高、債券高の全面高の可能性が大いにあ



すでに特許を取得。カジノ合法化なら3度目の奇跡

「僕ら、ベンチャーが成り上がるためには、考えているヒマはない。一筋の光明が見えたら、それに向かって全力で船を漕ぎ出してみただけ」とは、ダンボネット・シス

テムズ代表取締役の尾崎憲一氏。実は尾崎氏は、ITベンチャーの草分け的存在で、日本初の個人向けインターネットプロバイダー「ベッコアメ・インターネット」